

第45回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2008年3月20日(木) 午後6時30分～8時30分		
講 師	浅野玄誠先生(同朋大学教授)		
講 題	『常没流転 <small>じょうもちゅうてん</small> の凡愚 <small>ぼんぐ</small> 、かの国に生まれんと願す』		
日 程	6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)	
	6時45分	講義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃・閉会	

講師紹介

浅野 玄誠(あさの げんせい)

1955年、岐阜県輪之内町に生まれる。1979年大谷大学卒業、同大学大学院博士課程満期退学。京都の大谷高等学校の教諭を経て、現在、同朋大学文学部人間文化学科教授。専攻は、インド哲学及びインド仏教学。墨俣町の慶正寺衆徒。

先生からのメッセージ

「よい時代になった」とよく回想される。人間の欲望を満たす意味での「よい時代」にはなった。さて、そこでわたしたちはどんな幸福感や希望を持っているのだろうか。わたしたちは、生の享楽に執着するあまり、没することを必然的前提としている存在であることを忘れてる。優劣や勝ち負けを競うばかりに、わが身を賢に見せかけることに腐心している。

没しない生はなく、賢愚を分別する者は、不定の流転を続けるしかない。このことに気づかないから、わたしたちには、真の目標が見えてこない。

「かの国に生まれんと願す」

如来回向の本願は深い悲しみをもってわたしたちに願われている。しかしわたしたちは、貪愛・瞋憎の雲霧によって心光を妨げ、賢者であり、力ある者であることを誇ろうとしている。

自力聖道の菩提心 ころもことばもおよばれず

常没流転の凡愚は いかでか発起せしむべき

この和讃にこめられた聖人の思いを今一度ふり返りたい。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033